

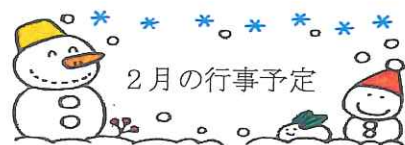


令和5年2月1日発行

10年に1度と言われた先月の寒波でしたが、ようやく立春も間近となってきました。又、コロナによるクラス閉鎖が登園2階のガラスで続きまして保護者の皆様には大変ご迷惑をかけました。直近では、コロナよりもインフルエンザ感染が強くなってきている様です。引き続き、手洗い、うがい、換気等予防に努めてゆきます。

まだまだ思うようには行事ができませんが、お子さん方には、出来るだけ楽しく元気に過ごせますよう工夫をしてゆきます。

御協力のほどよろしくお願い致します。



3日(金) 節分

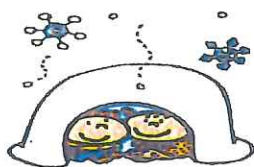
9日(木) 誕生会

14日(火) お話し会(花咲き山)

16日(木) お店屋さんごっこ

21日(火) テバッタ(マジック会)

28日(火) 縄跳び大会



3月の予定

2日(木) 誕生会

25日(土) 卒園式



いろいろな鬼

節分を機会に様々な鬼の出る絵本を読みます。「桃太郎」「一寸法師」の怖い鬼、「泣いた赤鬼」では心優しい鬼が登場します。保育園でもいろいろな鬼が登場して子ども達と盛り上がりませす。節分では鬼を病気や災いの象徴として追い払いますが、すべての鬼が怖いものではないと知った子ども達は、どんな気持ちになるのか楽しみです。子ども達のお話をお楽しみに！！

「主人公を子どもたちに」

忙しい毎日、つい「早く〇〇しなさい」と言ってしまうがちですね。しかし、細かい指示は子どもを受け身にし、言われたことだけをするようになる恐れがあります。生活の主人公を子どもに置き、「次は何をしたらいいかな？」と子ども自身が考え、見通しをもって生活できるようにしたいですね。

豊かな感性と表現につながります！



お絵描き遊びをしていた時のこと。Iちゃんが「おしっこ！」と教えてくれたので「教えてくれてありがとう！」と伝えた。するとIちゃんが「ありがとうなの？」と疑問だったようで、きよんとしていた。「そうだよ、教えてくれて嬉しかったからありがとうって思ったんだよ」と伝えると、「そっか～Iちゃんもうれしい」とニッコリ笑顔でトイレへ。おしっこもしっかり出て満足そうだった。保育士の話をよく聞いて理解し、「うれしい」と言葉にして伝えるIちゃんの成長を感じれる可愛らしいコマにほっこりさせられた。改めて、日頃から言葉にして伝える大切さを感じた場面だった。(さくらんぼ組)

園庭で遊んでいる時のこと。A君とY君がトラブルで言い合いにいらなくなってしまった様子。少し側で見ていると、別のY君が近くに寄り、2人の話を聞き「じゃあこうしたらいいやん！！」と意見を出してくれた。そして2人の手を取り握手をさせるように「はい仲直り」と最後に一言。その一言で、場の雰囲気がコロッと変わり、また遊びが始まった。Y君の明るい性格と優しさで心温まった。また、子ども達同士でトラブルを解決しようとする姿に成長を感じた。(すみれ組)

カルタ取り大会の時のこと。3グループに分かれてカルタとりを行った。一つのグループの0くんは、絵札を見つめるが1枚もとれずにいた。すると、近くにいたHくんが「それ！それだよ」と0くんに知らせ、とることができた。取った絵札をととても嬉しそうに見つめていた。取れていないお友だちにもとって欲しいと、札を教える優しい気持ちが嬉しかった。(ば組)



春がそこまで来ています。

園の畑に行ってみると、玉ねぎの芽がピンと立ち、少しずつ成長していました。その横に菜の花が、そっと顔を出していました。また落ち葉をそっとめくると生れたばかり草花や、虫さんを見発見！みんなが車を止めている駐車場の隅の方でも寒さに負けず、たんぽぽやよもぎが春の訪れを運んで来ています。

